

**SYSTEM02-2** LM5K2600S  
SUPER-NATURAL COLOR ライトモジュール / Light Module

**SYSTEM02-2** LM4.2K2200G  
PREMIUM COLOR ライトモジュール / Light Module

**SYSTEM02-2** LM5K3000V  
ライトモジュール / Light Module

大容量バッテリーモジュール / Large Battery Module

BM6700B

この度は、RGBLue 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、本書には保証書も付いていますので大切に保管してください。

Thank you for purchasing an RGBLue product. Before using this product, please read this Instruction Manual thoroughly. This manual contains the Warranty Card. Please retain it carefully.

## 製品の特徴

RGBBlue 水中ライトは、水中撮影用途に特化した新しい思想によりつくられた光源です。

### ・モジュレーションシステム

1. 光源（ライトモジュール）と電源（バッテリーモジュール）が、オリジナルのバヨネット構造により簡単に接続・取り外しができるシステムです。
2. ご使用の用途に合わせて、モジュールのみを追加購入することが可能です。

### ・バックアップ防水機構

各モジュールがそれぞれ防水構造\*をもっているため、セッティング時の浸水の懸念がありません。

※ 各モジュールは単体で IPX6<sup>\*1</sup> 相当、ライト使用時（モジュールを接続した状態）で耐水深 100M 防水機構。ただし、水中での接続・取り外しはできませんので、ご注意ください。

### ・撮影に最適な光源

1. 単一面発光する COB(Chip on Board)タイプの LED を採用し、複数 LED タイプにみられるマルチシャドー<sup>\*2</sup> や配光ムラを解消しました。

2. 高演色の光源を使用し、より自然な色を再現。

**02-2SNC** 色温度 5000K / 演色性 Ra95

**02-2PC** 色温度 4200K / 演色性 Ra95

**02-2** 色温度 5000K / 演色性 Ra80

3. 配光はビデオ撮影にも十分な 100° を確保。

4. 最大光量 **02-2SNC** 2600lm **02-2PC** 2200lm **02-2** 3000lm

5. 特殊集光レンズ（標準アクセサリ）により、配光を 100° から 60° に絞りターゲットをより明るく照射します。

### ・シンプルオペレーション

プッシュボタン 2 個のみで、ON/OFF、4 段階調光、無段階調光を行います。

### ・多彩な安全機構

各種の安全回路<sup>\*3</sup>、オーバープレッシャーバルブを搭載。

※ 1 IPX6 とは、「あらゆる方向からの強い噴流水による有害な影響がない」耐水性の規格です。

※ 2 マルチシャドーとは、複数の LED を使ったライトを使用したときに発生する多重の影のことです。

※ 3 高温保護、過充電保護、過放電保護、過電流保護、ショート保護。

**02-2SNC** SYSTEM02-2 SUPER-NATURAL COLOR

**02-2PC** SYSTEM02-2 PREMIUM COLOR

**02-2** SYSTEM02-2

## はじめに

- 本書の内容を無断で複製することは、個人利用をのぞき禁止されています。
- 本製品の内容については、予告無しに変更することがあります。
- 本製品の不適切な使用により、損害が生じた場合第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切の責任を負いません。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による分解、修理、改造その他の理由により生じた損害に関し、当社では一切の責任を負いません。

※本製品には、電子回路や充電式リチウムイオン電池が組込まれていますので、分解、改造は決して行わないでください。感電やけがの恐れがあります。

※製品の内部に水や異物が入ったと思われる時は、すみやかに使用をやめ電源を切って、お買上げの販売店が当社にご相談ください。




## 目次

安全上のご注意 .....	4
本体一覧.....	6
各部位名称.....	7
防水仕様について .....	9
ご使用前のメンテナンス.....	10
ご使用方法.....	12
本体を充電する .....	14
本体の操作方法 1 (ライトモード) .....	15
アクセサリーについて .....	17
本体の操作方法 2 (フラッシュモード) .....	18
ご使用後のメンテナンスとリカバリー機能.....	22
製品仕様.....	25
航空機での移動について.....	26
アフターサービス .....	26
保証規約.....	27
保証書 .....	裏表紙

## 安全上のご注意

### 安全上のご注意

- ・ 製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にはこの「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- ・ この「安全上のご注意」には安全のための重要な情報が記載されていますので、必ず守ってください。
- ・ 以下の表示の区分は、記載内容を守らず、誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 <b>危険</b>	死亡または重傷を負う危険性が大きいと想定される内容です。
 <b>警告</b>	死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 <b>注意</b>	損害を負うことや、物的損害発生が想定される内容です。

次に示す内容を守らず、誤った使い方をした場合、発火、発熱、破損、液漏れなどにより、やけど、けが、失明などの原因になります。

### 危険

- ・ 分解・改造をしない。
- ・ モジュールを単体で水中に持ち込まない。  
※ライトモジュールとバッテリーモジュールは水中での接続・取り外しはできません。
- ・ 火の中に入れてたり、オープンで加熱しない。
- ・ 高温の場所で使用や放置をしない。
- ・ 落下や衝撃を加えると、ガラスが割れたり部品が破損することがありケガの原因になります。
- ・ 乳幼児の手の届く場所に置かない。

### 警告

- ・ 人の目に向けて点灯させない。
- ・ バッテリーモジュールおよび充電プラグの充電端子を、金属のピンなどでショートさせない。
- ・ ACアダプターの定格電圧（AC100V～240V）で使用する。
- ・ ACアダプターを液体で濡らしたり、濡れたままで使用しない。

- ACアダプターや家庭用電源、ACアダプター接続端子内にほこりがたまってないかを定期的に点検する。
- ACアダプターのコードが傷んだら使用しない。
- 家庭用電源やACアダプターは、プラグを根元まで確実に差し込む。
- 本体を振り回したり投げたりしない。

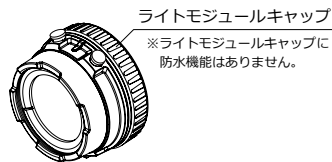
 **注意**

- 陸上では長時間（5分以上）点灯させない。
- 床や机などの上に、光源を下向きにした状態で点灯させない。
- 異臭、異常音、変形、煙が出るなどの異常が生じた場合は、直ちに使用を中止する。
- 水中にエントリーする際に、本製品を持ったまま飛び込まない。
- モジュール接合時は、Oリングの点検を行う。
- モジュールの接合は、正しく行う。
- バッテリーモジュール単体での保管時は、付属のモジュールキャップを装着する。
- 長期間使用しない場合は、ACアダプターをコンセントから抜く。

## ■ 本体一覧

### ライトモジュール

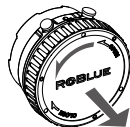
(ライトモジュールキャップ付き)



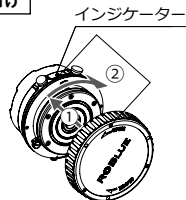
### ■ ライトモジュールキャップの取り外しと取り付け

#### 取り外し

キャップを← OPEN 方向に回して引き抜く。



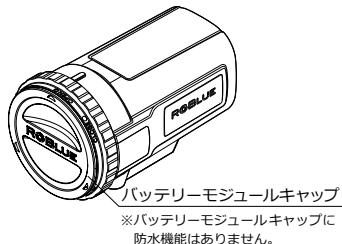
#### 取り付け



- ① ライトモジュールのインジケーターとキャップの○を合わせてキャップを差し込む。
- ② キャップを CLOSE → 方向に止まるまで回す。

### バッテリーモジュール BM6700B

(バッテリーモジュールキャップ付き)

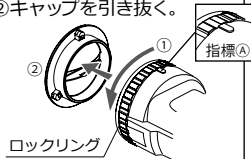


### ■ バッテリーモジュールキャップの取り外しと取り付け

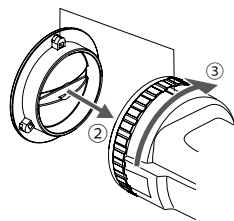
#### 取り外し

① ロックリングを OPEN 指標○と指標(A)が合うまで回す。

② キャップを引き抜く。



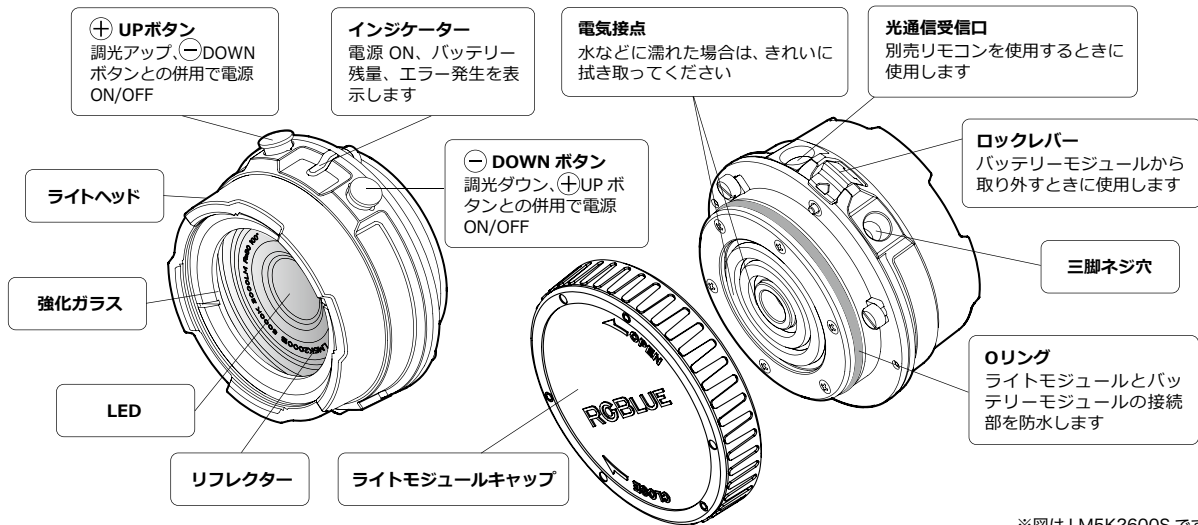
#### 取り付け



- ① ロックリングの OPEN 指標○と指標(A)を合わせる。
- ② キャップ裏の凸形状と指標(A)を合わせて差し込む。
- ③ キャップを押さえつけながらロックリングを CLOSE 指標●と指標(A)が合う位置まで回す。

## 各部位名称

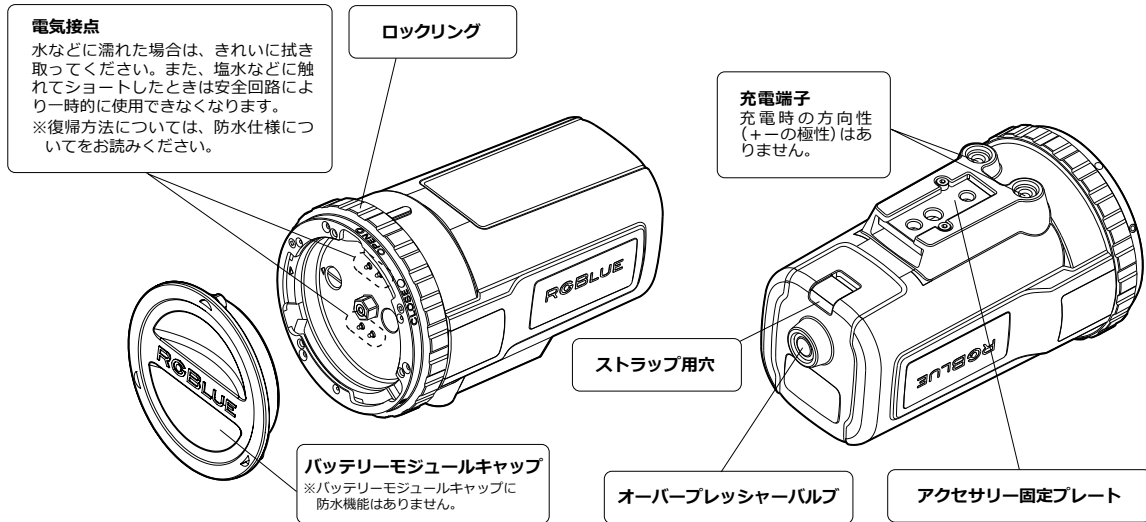
### ■ライトモジュール



※図は LM5K2600S です。

## 各部位名称

### ■バッテリーモジュール BM6700B





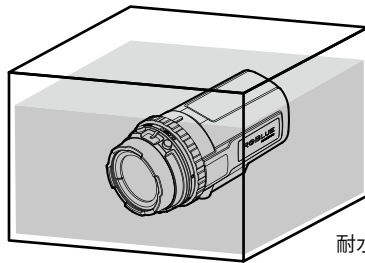
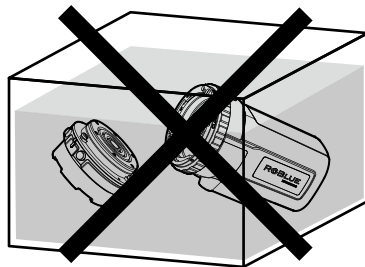
## ■ 防水仕様について

- 各モジュールの内側は、接続・取外し時に濡れても水が内部に侵入しないよう IPX6 相当の防水構造になっています。ただし、水の中に入れたり、水中での接続・取外しはできませんので、ご注意ください。

※ IPX6 とは、「あらゆる方向からの強い噴流水による有害な影響がない」耐水性の規格です。

- 各モジュールの内側が水に濡れた場合は、毛羽立たない乾いた布などで完全に水分を拭き取ってください。また、塩水などに濡れた場合は真水で湿らせた布などできれいに塩水を拭き取り、完全に乾燥させてください。
- バッテリーモジュールの電気端子が塩水などに濡れてショートした場合、内部の安全回路が作動し一時的に使用できなくなります。その場合は、上記の方法で拭き取り、乾燥させた後、AC アダプター + 充電プラグより充電を行うことで復帰いたします。
- 各モジュールが接続された状態（水中で使用する状態）での、耐水深は 100M です。100M 以上の水深では使用できません。またこの防水は、お客様のメンテナンスにより保たれます。

※専用充電プラグおよび ACアダプターは防水仕様ではありませんので、水に濡らさないようにご注意ください。



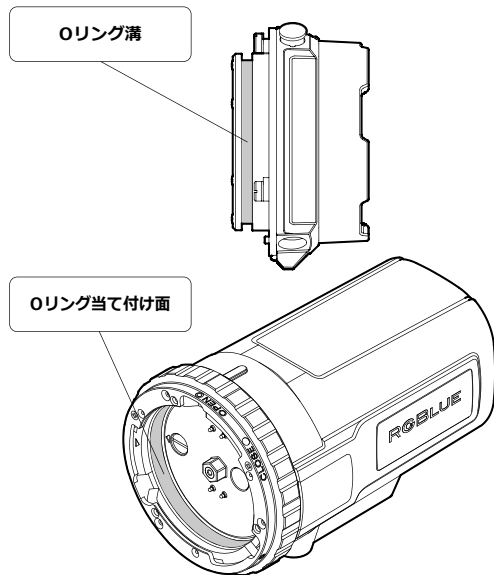
耐水深 100M

## ■ ご使用前のメンテナンス

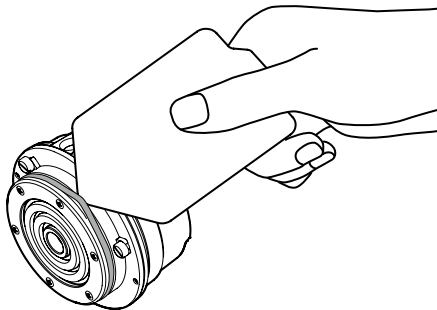
本製品の耐水深 100M 防水は、ライトモジュールの Oリングおよび Oリング溝とバッテリーモジュールの Oリング当て付け面が密着することによって機能を保っています。

ご購入直後でも水中で使用する前には必ず、以下のメンテナンスを行ってください。

- Oリングは消耗品ですので目安として1年に一回は交換してください。以下に示す異常があった場合は、必ず新品の専用 Oリングと交換してください。
- グリスは必ず、専用シリコングリスを使ってください。



1. Oリングリムーバーを使用し、Oリングを取り外します。
2. Oリングにゴミや異物などが付いていないか？キズやヒビ割れが無いか？確認します。  
※もし、異常がある場合は新品のOリングに交換してください。
3. Oリング溝を綿棒などできれいにします。
4. Oリングに専用グリスを塗布します。
5. Oリングを取付けます。  
※取付ける際は、Oリングにキズを付けないように注意してください。
6. バッテリーモジュールのOリング当て付け面に異物が付いていないことを確認し、モジュールを接続します。

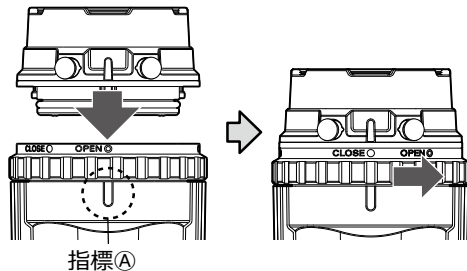
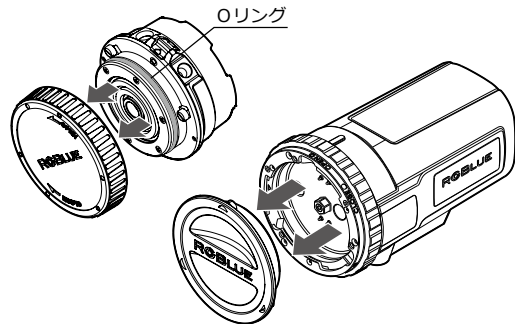


## 【ご使用方法

ライトモジュールとバッテリーモジュールの接続・取り外し方法です。

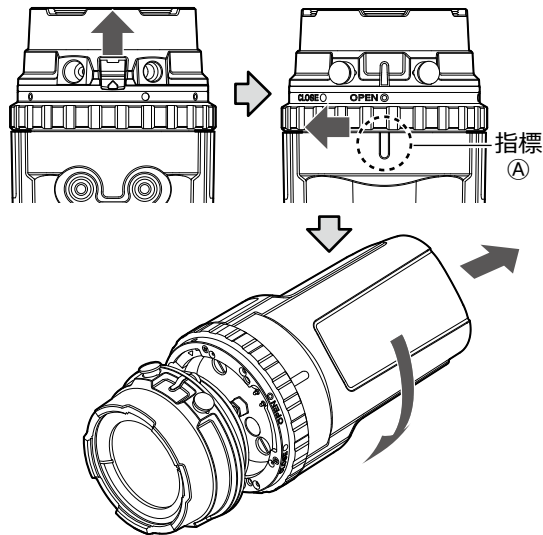
### ■接続

1. ライトモジュールに装着されているライトモジュールキャップとバッテリーモジュールに装着されているバッテリーモジュールキャップを取り外します。取り外し方法は P.6 参照。  
※ライト/バッテリーモジュール単体での保管時には、必ずこのライト/バッテリーモジュールキャップを取り付けてください。
2. ライトモジュールに Oリングがついていることを確認してください。
3. バッテリーモジュールの指標①にロックリングの OPEN 指標○を合わせ、ライトモジュールのインジケーターと OPEN 指標○を合わせ最後まで差し込みます。  
※接続向きが 3 方向あり、どちらの向きでも接続が可能です。
4. ロックリングを回し、①に CLOSE 指標●を合わせ「カチッ」と音がしたらロックされます。



## ■取外し

1. ライトモジュールのロックレバーを引き、ロックリングのOPENを指標①まで回します。
2. ロックリングをOPEN方向に回しきった後、ライトモジュールを下向きに固定しバッテリーモジュールを左側に回します。



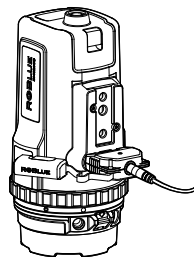
## ■ 本体を充電する

充電は、各モジュールが接続された状態、およびバッテリーモジュール単体のみの状態いずれの状態でも可能です。

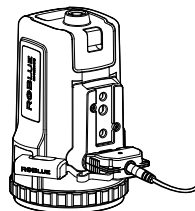
**⚠ 注意：充電を行う場合は充電端子の水分を拭き取り、完全に乾燥した状態で行ってください。**

1. AC アダプターと充電プラグを取り付けます。
2. 充電プラグのキャップを取り外し、バッテリーモジュールの充電端子に差し込みます。  
※プラグに方向性（＋の極性）はありません。
3. AC アダプターをコンセントに差し込みます。
4. 充電プラグの充電表示ランプが点灯したら充電が開始されます。
5. 充電プラグの充電表示ランプが消灯したら充電完了です。

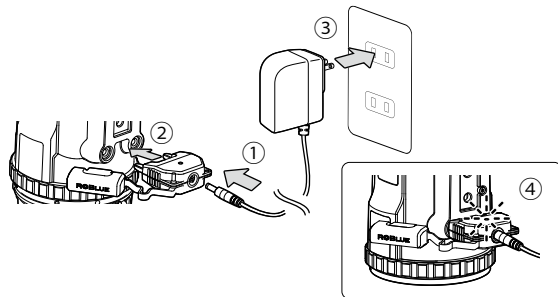
※満充電まで約6時間です。使い切った状態から満充電した場合の目安です。実際の充電時間や充電回数は電池の使用状況や環境温度、その他の要因により異なります。



各モジュールが接続された状態



バッテリーモジュール単体



## ■ 本体の操作方法 1 (ライトモード)

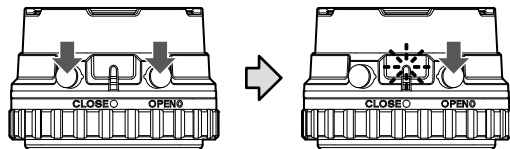
本製品は、不用意に点灯しないよう 2 段階の操作によって電源が入るように設計されております。

動作は、電源 OFF → 電源 ON → 調光 → 電源 OFF の手順となります。

### ■ 電源 ON

1. ⊕ UP ボタンと ⊖ DOWN ボタンを同時に長押し、インジケータが点滅したら ⊕ UP ボタンを 1 回押してください。
2. インジケータが点滅から点灯へ変わり、電源 ON の状態になります。また、その時のインジケータの色がバッテリー残量を示します。

※長押し後の点滅は、その後 ⊕ UP ボタンを押さないと 5 秒程度で消え、電源 OFF の状態に戻ります。



同時長押し → 点滅中に ⊕ UP ボタン押し → 電源 ON

### ● バッテリー残量の目安

※電源 ON の状態（インジケータが点灯している状態）では、ライトが点灯していなくても、少しずつバッテリーを消耗します。よって、長時間使用しないときには電源を OFF にして、潜水前に電源を ON にすることをお勧めします。

バッテリー残量が 5%以下となった場合、自動的に最小値の光量に減光し調光は行えなくなります。

### バッテリー残量

100%～50%	ブルー	調光レベルによっても、表示が変化しますが製品の仕様によるもので故障ではありません。
50%～20%	パープル	
20%～5%	イエロー	
5%以下	レッド	

### ● その他の表示

点滅：内部が規定温度より高くなった場合、安全回路が作動し正常な温度に戻るまで減光し点滅し続けます。

## ■ 調光

4段階調光と無段階調光では、以下のように光量の調整範囲が異なります。

## ■ 4段階調光

⊕ UP/ ⊖ DOWN ボタンを単押しすることで光量を4段階調節します。マイナスボタンの単押しを続けると消灯します。



**02-2SNC** 消灯 — 800lm — 1200lm — 1500lm — 2100lm

**02-2PC** 消灯 — 500lm — 900lm — 1300lm — 1800lm

**02-2** 消灯 — 1000lm — 1500lm — 2000lm — 2500lm

## ■ 無段階調光

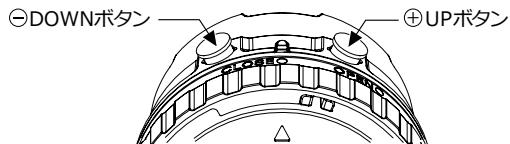
⊕ UP/ ⊖ DOWN ボタンを長押しすることで無段階調節を始めます。指を離れた光量で止まります。



**02-2SNC** 400lm ..... 2600lm

**02-2PC** 300lm ..... 2200lm

**02-2** 600lm ..... 3000lm



## ■ 光量別連続点灯時間

4段階調光	①	②	③	④
<b>02-2SNC</b>	800lm	1200lm	1500lm	2100lm
<b>02-2PC</b>	500lm	900lm	1300lm	1800lm
<b>02-2</b>	1000lm	1500lm	2000lm	2500lm
連続点灯時間	600分	240分	180分	120分

無段階調光	MIN ~ MAX
<b>02-2SNC</b>	400lm ~ 2600lm
<b>02-2PC</b>	300lm ~ 2200lm
<b>02-2</b>	600lm ~ 3000lm
連続点灯時間	1000分 ~ 90分



## ■ 電源 OFF

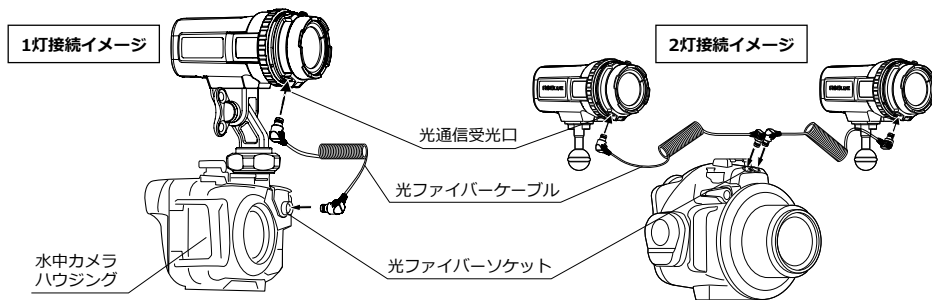
⊕ UP/ ⊖ DOWN ボタンを同時に押すと OFF になります。

## 【 アクセサリーについて

別紙、アクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

## ■ 本体の操作方法 2 (フラッシュモード)

フラッシュモードはカメラの内蔵ストロボの発光に同期してライトを短時間発光するモードです。ライトを常時点灯する撮影では困難な「光に反応して逃げる被写体」の撮影の可能性を拡大することができます。発光光量は3段階 (High・Mid・Low)、発光時間は2段階 (0.3秒・1秒) から選択できます。ご使用前に以下の取扱説明をお読みください。



## ■ カメラとライトの接続

市販の光ファイバークーブル (シーアンドシー、オリンパス規格) を使用して、カメラ側ストロボ発光部とライトの光通信受光口を下図のように接続してください。

**⚠注意：フラッシュモードとリモートコントローラー (RGB-RC01) との併用はできません。**

※ライトモード時はリモートコントローラーは使用可能です (ライトとリモートコントローラーを光ファイバークーブルで接続してください)。

## ■ ライトをフラッシュモードにする

※電源 ON/OFF 操作はライトモードでのご使用時と同じです。

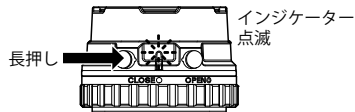
1. ⊕ UP ボタンと ⊖ DOWN ボタンを同時に長押し、インジケータが点滅したら ⊕ UP ボタンを 1 回押してください。
2. インジケータが点滅から点灯へ変わり、電源 ON の状態になります（電源 ON 時はライトモードになります）。
3. この状態（電源 ON でライト消灯時）から ⊖ DOWN ボタンをインジケータが点滅するまで（約 2 秒）長押ししてください。

**⚠ 注意：本体ボタンのみ操作できます、リモコンでは操作できません。**

4. インジケータは別表に示すように、フラッシュ動作（光量・発光時間）に応じた点滅表示を行います。フラッシュモード中のインジケータの色はライト動作時と同様に、電池残量にしたがって変化します。
5. 通常のライト動作に戻すときは、再度 ⊖ DOWN ボタンを押してください。インジケータが点灯へ変わりライトモードになります。

6. 電源 OFF にするときは ⊕ UP ボタンと ⊖ DOWN ボタンを同時に押してください。

### フラッシュモード設定



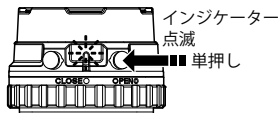
電源 ON（消灯状態）→ ⊖ DOWN ボタン長押し → インジケータが点滅を続けます。

**⚠ 注意：フラッシュモードは赤外線を使用しているため、太陽光に反応して発光する場合があります。必ず光ファイバケーブルを接続してから電源を入れてください。**

## ■ 光量・発光時間の選択方法

1. フラッシュモードにて、⊕UPボタンを押すごとに発光時の光量が H→M→L→H→…に切り替わります(このとき発光はしません)。
2. ⊕ UP ボタンを長押し (約1秒) すると発光時間が 1秒→0.3秒→1秒→…に切り替わります (このとき発光はしません)。

### フラッシュモード光量変更



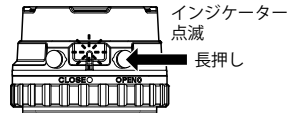
フラッシュモード時に ⊕ UP ボタン単押し → 光量 H → M → L の変更の繰返し、インジケータが光量に応じた点滅表示を繰返します。下表参照。

表1 フラッシュモード インジケータ表示

点灯時間	光量	点滅表示イメージ						
0.3 秒	High	*	*	*	*	*	*	*
	Mid	*	*	*	*	*	*	*
	Low	*	*	*	*	*	*	*

3. バッテリー接続後の初期状態は、光量 High・発光時間 0.3 秒です。また設定状態はバッテリーモジュールをライトモジュールから取り外すまで記憶しています。

### フラッシュモード点灯時間変更



フラッシュモード時に ⊕ UP ボタン長押し → 点灯時間 0.3 秒 → 1 秒の変更の繰返し、インジケータが点灯時間に応じた点滅表示を繰返します。下表参照。

表2 フラッシュモード インジケータ表示

点灯時間	光量	点滅表示イメージ								
1 秒	High	*	*	*→*	*	*	*→*	*	*	*→*
	Mid	*	*	*→*	*	*	*→*	*	*	*→*
	Low	*	*	*→*	*	*	*→*	*	*	*→*

## ■ 発光とシャッターの同期について

フラッシュモード中に本機の光通信受光口に入力されるストロボ光に同期して、ライトが点灯を開始します。本機の発光とカメラシャッターの同期を確実にとるようにするため、下記のカメラ側ストロボ設定を推奨します。

1. 内蔵ストロボがプリ発光するモードをお使いください。
2. RC 発光が可能なシステムの場合は「RC 発光のみ」を使用いただくことで、無駄な電池消費を防ぐことができます。

**⚠注意：ストロボをマニュアル発光モードにするとプリ発光しない場合があります、本機の発光とシャッターが同期できないことがあります。**

## ■ 光量調整について

フラッシュモードの光量は3段階選択ができます（初期状態はHighです）。一眼カメラなどをご使用の場合は、露出モードをマニュアルモードにして絞り（F値）を調整することで露出調整が可能です。コンパクトカメラなどマニュアル露出ができないカメラの場合、オートモードで露出補正機能を使用し露出調

整が可能です。マクロ撮影時など撮影距離によっては補正しきれず露出オーバーとなる場合があります。このようなときは本機の光量調整でMidまたはLowを選択してください。

### 【フラッシュモード光量とライトモード光量の関係】

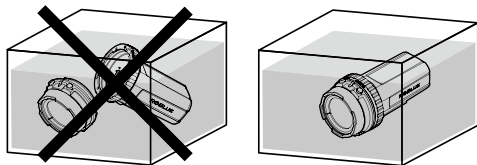
フラッシュモード光量	ライトモード光量
High	無段階調光の最大値
Mid	4段階調光の2段階値
Low	無段階調光の最小値

## ■ 発光時間選択について

本機は2段階のフラッシュ発光時間選択ができます（初期状態は0.3秒です）。カメラを連写モードでご使用の際は発光時間を1秒に設定すると、約1秒間の連続撮影が可能となります。

## ■ ご使用後のメンテナンスとリカバリー機能

- ご使用後は、レンズなどを取り外し、ご使用時の状態のまま（各モジュールが接続された状態）常温の真水に1時間以上浸けて塩分を取り除いてください。



- 真水から取り出した後は、乾いた布などで水分を取り除き、直射日光の当たらないところで自然乾燥させてください。

**⚠注意：ヘアードライヤーや直射日光などでの乾燥は、製品やOリングの劣化や変形の原因となり、故障や浸水の原因となります。**

- 長時間使用しない場合は、ライトモジュールとバッテリーモジュールを取り外して、バッテリーモジュールにモジュールキャップを取り付けて保管してください。

- スペアの専用Oリングや専用シリコングリスは消耗品です。無くなった場合は、お買い求めください。
- バッテリーモジュールは制御基板を内蔵しているため、保管状態でも少しずつバッテリーを消費しますが、故障ではありません。ご使用前は再充電することをお勧めします。

ご使用前後の移動、保管中のOリング、Oリング当て付け面へのごみ、ほこりの付着、キズ等を防止するためにバッテリーモジュールキャップ (RGB-CAP1)、ライトモジュールキャップ (RGB-CAP2) の取り付けが有効です。

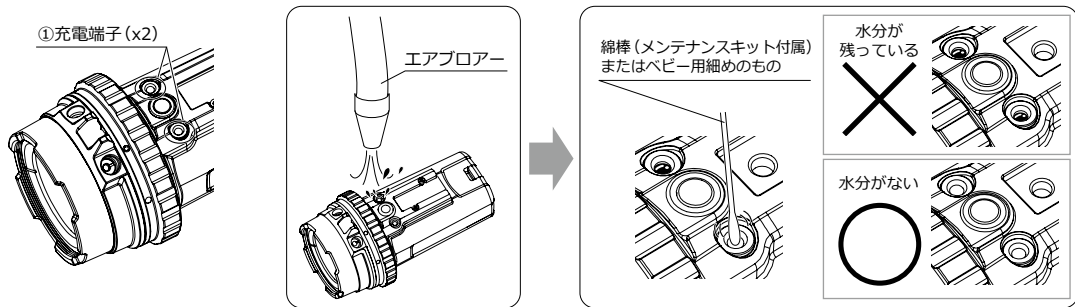
## ■充電端子のメンテナンス

RGBBlue SYSTEM シリーズのバッテリーモジュール、ライトモジュールは個別の防水構造とリカバリー機能により、故障を最小限に抑えることができます。ご使用前後のメンテナンスにより本体の性能を長く保ち続けることができます。

充電端子内に水分が残ったまま充電すると徐々に端子が腐食、金属が劣化することにより、充電ができなくなる場合があります。

充電する時は充電端子に水分がなく、完全に乾燥した状態であることを確認してから充電プラグを差し込んでください。

充電端子の自然乾燥の時間が取れない場合は、塩抜き後にエアブロー等で充電端子内の水分を飛ばし、メンテナンスキットの綿棒、またはベビー用等の細めの綿棒を使用することにより水分を完全に取り除くことができます。

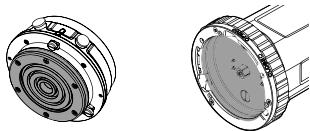


※充電端子が腐食して充電ができない場合、充電端子の修理交換（有償）が可能です。カスタマーサポートにお問い合わせください。

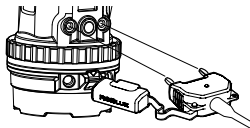
## ■リカバリー機能

万一、本体が水漏れした場合、内部の保護回路が作動し、一時的に電源が入らなくなります。保護回路は下記の手順で復帰できます。

バッテリーモジュールとライトモジュールを取り外します。各モジュールの内側の水分を毛羽立たない乾いた布などで完全に水分を拭き取り、完全に乾燥させます。また、塩水などに濡れた場合は真水で湿らせた布などできれいに塩水を拭き取るか、流水で塩分を洗い流してから完全に乾燥させてください。



ACアダプター＋充電プラグより充電を行うことで機能が復帰します。



左記の作業で機能が復帰しない場合は、カスタマーサービスまでお問い合わせください。

『エーオーアイ・ジャパンカスタマーサポート窓口』

<https://www.rgblue.jp/ja/contact/>

TEL：045-441-0127

営業時間：月～金 10:00～17:00

(土・日・祝日はお休み)





## 製品仕様

機種名	SYSTEM02-2 スーパーナチュラルカラー				SYSTEM02-2 プレミアムカラー				SYSTEM02-2						
品番	SYSTEM02-2-SNC				SYSTEM02-2-PC				SYSTEM02-2						
光源	スーパーナチュラルカラー LED				プレミアムカラー LED				スタンダードカラー LED						
色温度	5000K				4200K				5000K						
演色性	Ra95				Ra95				Ra80						
全光束	最大 2600lm				最大 2200lm				最大 3000lm						
調光	4段階調光			無段階調光	4段階調光			無段階調光	4段階調光			無段階調光			
光量	800lm	1200lm	1500lm	2100lm	400lm…2600lm	500lm	900lm	1300lm	1800lm	300lm…2200lm	1000lm	1500lm	2000lm	2500lm	600lm…3000lm
連続点灯時間	600分	240分	180分	120分	1000分…90分	600分	240分	180分	120分	1000分…90分	600分	240分	180分	120分	1000分…90分

照射角度	100° 集光レンズ使用時 60°
使用環境	水中 ※陸上で連続点灯すると、高温になり安全装置より減光または消灯します。
LED 表示	バッテリー残量：ブルー→パープル→イエロー→レッド エラー：レッド点滅
電源	充電式リチウムイオンバッテリー 6400mA/7.2V (46.08Wh)
充電方式	AC アダプター + 専用プラグ
電池寿命 <sup>※1</sup>	約 500 回
耐水深	100M IPX8 (JIS 保護等級 8)
大きさ	最大径 Φ 68mm × 135mm (突起部を除く)
重量	陸上 565g / 水中 205g

使用温度範囲	-5°C ~ +45°C
保存温度範囲	-5°C ~ +45°C
保存湿度範囲	20% ~ 60%
材質、処理	耐蝕アルミ合金：硬質アルマイト、チタン合金、PC 光学ガラス：化学強化ガラス
赤外線受光口	リモートコントロールで調光可能 ※別売リモートコントロール使用時
安全規格	CE、FCC、PSE
ライトリングネジ径	M49 JIS規格対応
ボトムプレート/ヘッド	三脚ネジ対応 JIS規格対応

※1 電池寿命とは、充電できる容量がバッテリー容量の 50% 以下に低下した状態を指します。従いまして、その状態でもバッテリーは使用できます。

## ■ 航空機での移動について

水中ライトの航空機持ち込みにおいてスキューバダイビング用ライトは、航空法第 86 条で定められている「輸送を制限する危険物」に該当しております。

詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.rgblue.jp/ja/downloads/>



## ■ アフターサービス

アフターサービスやオーバーホールなどについては、弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.rgblue.jp/ja/feature/#service>



## ■ 保証内容および修理に関して

- 1 保証書の「お買上げ日」、「販売店印」を必ずご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 2 保証期間はお買上げ日より1年間です。
- 3 修理をお申しつけされる場合  
保証期間中：製品に保証書を（本書）を添えて、お買上げの販売店にご持参ください。保証書に記載された内容に基づき修理いたします。  
保証期間外：修理が可能な場合は、ご要望により有料で修理いたします。
- 4 その他、製品に関するお問い合わせ、ご質問などがございましたら、弊社までご連絡ください。

製造元：株式会社 エーオーアイ・ジャパン  
Tel：045-441-0127  
<https://www.rgblue.jp/ja/contact/>



受付時間：月～金 10:00～17:00（土・日・祝日はお休み）  
〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区金港町2-1  
パークタワー横濱ポートサイド2F

## 保証規約

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
  - ご使用上の誤り、あるいは改造や不当な修理による故障および損傷
  - お買上げ後の不適切な取扱い（例えば落下）、あるいは輸送、移動などによる故障および損傷
  - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、ならびに公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・指定外の使用電源（電圧、周波数）・その他の外部要因による故障および損傷
  - 業務用としての使用、あるいは一般家庭用以外に使用された場合の故障および損傷
  - 本書のご提示がない場合
  - 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
  - 設定の調整、変更、消耗部品の交換
- 本書に記入されているお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合には、弊社にお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

**This Warranty is effective only in JAPAN.**

- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間および条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間が経過した後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店もしくは下記の弊社HPへお問い合わせください。

<お問い合わせ窓口>

<https://www.rgblue.jp/ja/contact/>



## Product Features

The RGBBlue Underwater Lighting System is a light source based on a new concept specialized for underwater photography.

### • Modulation system

1. The light source (Light Module) and power source (Battery Module) can be connected and disconnected easily thanks to an original bayonet construction.
2. Single module can be purchased additionally according to the usage of the system.

### • Backup waterproofing mechanism

Each module is given an independent waterproofing structure to eliminate the risk of water penetration during setting.

Each module is provided with an IPX6<sup>1</sup>-equivalent waterproofing mechanism withstanding a water depth of 100 meters during lighting (i.e. when the modules are connected). However, remember that the modules cannot be connected or disconnected under water.

### • Light source optimized for photography

1. A COB (Chip On Board) type LED that emits light from a single plane is used so the problems observed with multi-LED type light source, such as multi-shadow phenomenon<sup>2</sup> and light distribution irregularities, are eliminated.

2. The light source with high color rendering index is used to reproduce highly natural colors.

**02-2SNC** Color temperature 5000K / Color rendering index Ra95

**02-2PC** Color temperature 4200K / Color rendering index Ra95

**02-2** Color temperature 5000K / Color rendering index Ra80

3. Light distribution is 100°, which is wide enough for video recording.
4. The maximum light intensity.

**02-2SNC** 2600lm **02-2PC** 2200lm **02-2** 3000lm

A special condensing lens (standard accessory) can narrow the light distribution from 100° to 60° for brighter illumination of the target.

### • Simple operation

Only a couple of pushbuttons can control the switch ON/OFF, 4-step brightness control and non-step brightness control.

### • Various safety mechanisms

Multiple safety circuits<sup>3</sup> and an over-pressure valve is built in.

<sup>1</sup> IPX6 is a liquid ingress protection standard with which water projected in jets from any direction shall have no harmful effects.

<sup>2</sup> The multi-shadow phenomenon refers to the shadows produced when a light with multiple LEDs is used.

<sup>3</sup> High-temperature protection, over-charge protection, over-discharge protection, over-current protection and short-circuiting protection.

## Introduction

- It is inhibited to duplicate the contents of this manual without permission from RGBLue except for personal use.
  - The contents of this manual may be subject to change without prior notice.
  - In case improper use of this product causes damages, RGBLue will not assume any liabilities against any claim from a third party.
  - RGBLue will not assume any liabilities for the damage incurred by malfunction of this product or other reasons including disassembly, repair or modification by a third party other than the parties designated by RGBLue.
- \* As this product includes electronic circuitry and lithium ion battery, never attempt to disassembly or modify it. Otherwise, a risk of electric shock or injury may result.
- \* If a liquid or foreign object enters the product, immediately stop using it, switch it off and contact your dealer or RGBLue.




## Table of Contents

Safety Precautions.....	30
Modules .....	32
Nomenclature.....	33
Notes on Waterproofing Specifications .....	35
Maintenance before Use.....	36
Connection/Disconnection Methods .....	38
Battery Charge.....	40
Operation1 (Light Mode).....	41
Accessories.....	43
Operation2 (Flash Mode) .....	44
Maintenance after Use and Recovery Function .....	48
Product Specifications.....	51
When transporting this product on an airplane.....	52
After-Sale Servicing .....	52
Warranty Terms .....	53
Warranty Card.....	Back cover

## Safety precautions

### Safety precautions

- To ensure safe and correct use, be sure to read the “Safety Precautions” before using the product.
- The “Safety Precautions” contain the information critical for your safety. Be always sure to heed the information given here.
- The following symbols describe the degrees of risk and damage that may be caused if the information given under each symbol is not observed.

 <b>DANGER</b>	<b>Indicates an imminently hazardous situation which, if not avoided, could result in death or serious injury.</b>
 <b>WARNING</b>	<b>Indicates a potentially hazardous situation which, if not avoided, may result in death or serious injury.</b>
 <b>CAUTION</b>	<b>Indicates a potentially hazardous situation which, if not avoided, may result in serious injury or equipment damage.</b>

If the product is used improperly without observing the following information, fire ignition, heat generation, equipment damage or liquid leak may cause a burn, injury or loss of sight.



**DANGER**

- Do not disassemble or modify the modules.
- Do not soak a single module in water without connecting it to the other module.
  - \* The Light Module and Battery Module cannot be connected or disconnected to each other under water.
- Do not throw the modules in fire or heat them excessively in an oven.
- Do not use or leave the modules in an area exposed to high temperatures.
- Do not apply a strong impact to the modules, such as dropping them. Otherwise, the broken glass or damaged components may cause an injury.
- Do not place the modules in the reach of babies, infants, and children.



**WARNING**

- Do not project the light toward human eyes.
- Do not short-circuit the charge terminals of the Battery Module

- or charge plug with a metallic object such as a pin.
- Always use the AC adapter in the rated voltage range (100 to 240 V AC).
- Do not let the AC adapter get wet with a liquid or use it while it is wet.
- Check periodically that the AC adapter, household power outlet and AC adapter's connectors are free of dust.
- Do not use the AC adapter cord if it is damaged.
- Insert the plugs all the way into the household power outlet and AC adapter.
- Do not swing around or throw the modules.



## CAUTION

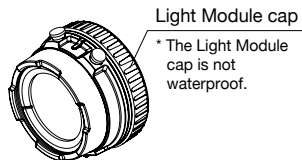
- Do not switch the light on for an extended period (more than 5 min.) overland.
- Do not emit switch the light on when the light source is placed downward on a floor or desktop.
- Do not use the modules if any irregularity, including abnormal odor, heat generation, discoloration or deformation, is observed during use.

- When taking water, do not jump in while holding the modules.
- Check the O-ring when connecting the modules.
- Connect the modules properly.
- When storing the Battery Module separately, be sure to attach the provided module cap.
- When the modules are not to be used for a long period, be sure to unplug the AC adapter from the power outlet.
- Do not pull or twist the cable with excessive force.
- Do not place an object on the cable or step on it.
- Do not bend the cable, Light Module connecting section, or the light head connecting section sharply.
- Do not swing this product with the cable.
- Do not use the cable to hang or carry the light head or Battery Module.
- If the cable is scratched, dented, or bent, it may not function properly. Stop using this product immediately and switch off the power. Then contact your dealer or AOI Japan Co., Ltd.

## Modules

### Light Module

(provided with Light Module cap)



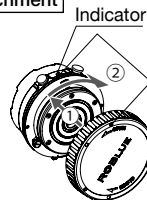
### How to remove and attach the Light Module cap

#### Removal

Turn the cap in the ← OPEN direction and pull it.



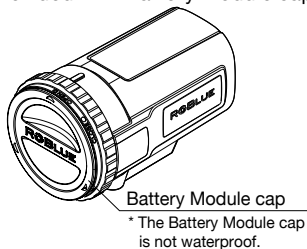
#### Attachment



- 1.Align the indicator on the Light Module with OPEN index ○ on the cap and fit the cap on the light head.
- 2.Turn the cap in the CLOSE → direction as far as it goes.

### Battery Module BM6700B

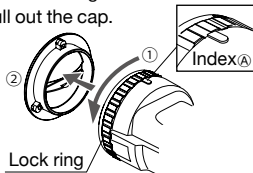
(provided with Battery Module cap)



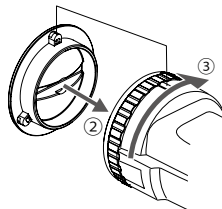
### How to remove and attach the Battery Module cap

#### Removal

- 1.Turn the lock ring until the OPEN index ○ is aligned with the index (A).
- 2.Pull out the cap.



#### Attachment

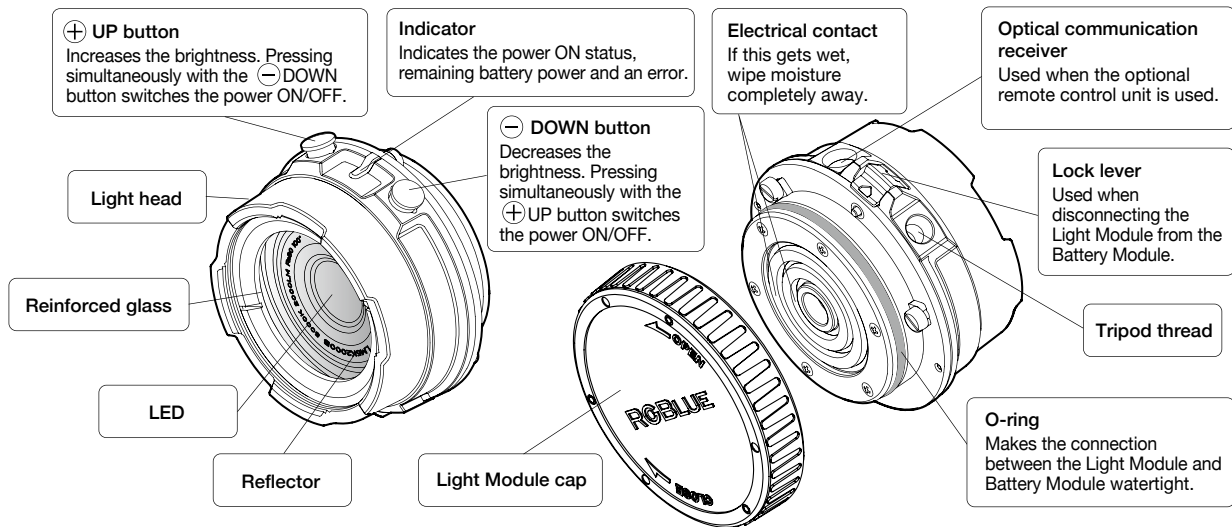


- 1.Align the OPEN index ○ on the lock ring with the index (A).
- 2.Align the tooth on the back of the cap with the index (A) and fit the cap on the lock ring.
- 3.While pushing the cap in place, turn the lock ring until the CLOSE index ● is aligned with the index (A).



# Nomenclature

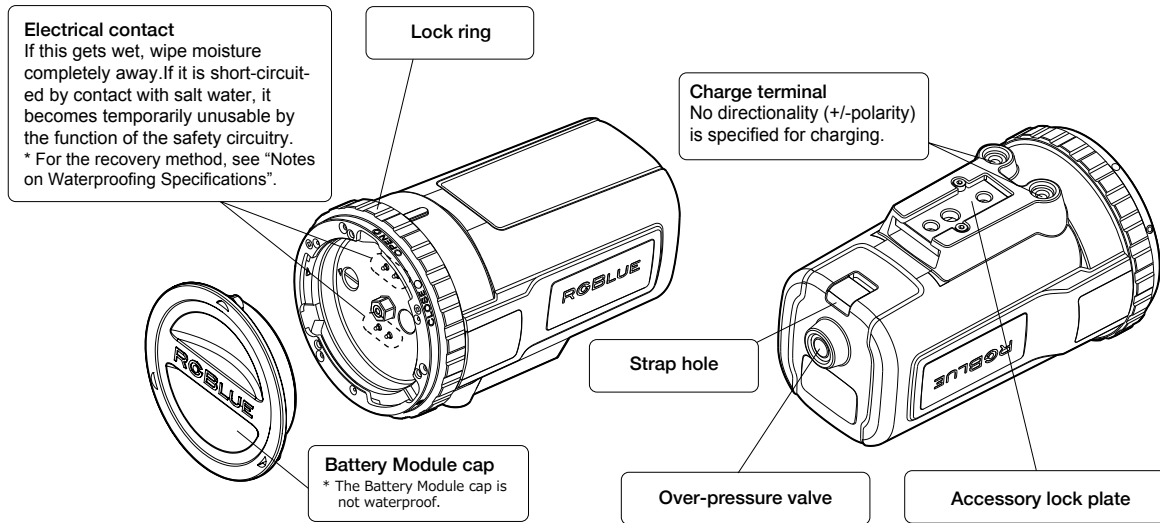
## Light Module



\*The figure is LM5K2600S.

# Nomenclature

## ■ Battery Module BM6700B



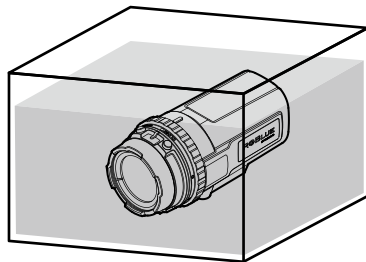
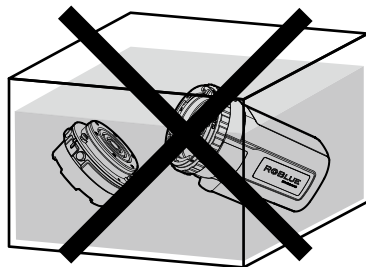
## Notes on Waterproofing Specifications

- Each module is provided with an IPX6<sup>7</sup> -equivalent waterproof construction so that water does not penetrate it even when it gets wet during connection or disconnection. However, note that a single module cannot be soaked in water and that the modules cannot be connected or disconnected underwater.

\* IPX6 is a liquid ingress protection standard with which water projected in jets from any direction shall have no harmful effects.

- Should the inner side of a module is moistened by water, wipe the moisture completely away using a lint-free, dry cloth. If it is moistened by salt water, wipe the salt water completely away using a cloth moistened with fresh water and then dry it completely.
- If the electrical terminal of the Battery Module is short-circuited by contact with salt water, it becomes temporarily unusable by the function of the internal safety circuitry. If this happens, wipe it with the method described above, dry it and then recharge the battery by means of the AC adapter and charge plug to recover power.
- When the two modules are connected (ready for underwater use), the withstanding water depth is 100 meters. The modules cannot be used in a depth over 100 meters. However, remember that this waterproofing is retained only when the user performs optimum maintenance.

\* The dedicated charge plug and AC adapter are not waterproof. Be careful not to moisten them.

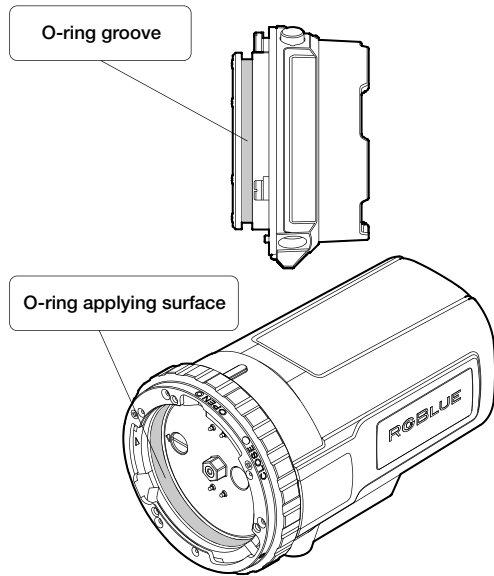


Withstanding water depth: 100 meters

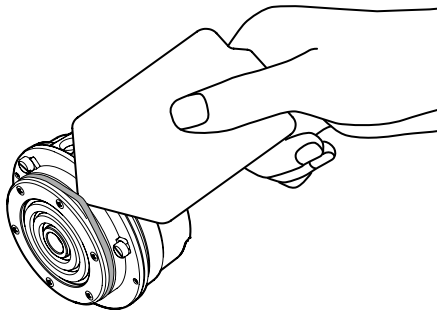
## Maintenance before Use

The 100-meter waterproofing of this product is retained by the close contact between the O-ring of the Light Module, its O-ring groove and the O-ring applying surface of the Battery Module. Including the first use after purchase, be sure to perform the following maintenance before using this product underwater.

- The O-ring is a consumable part, which should be replaced at least every year. If any irregularity such as the one mentioned on the next page is found, be sure to replace it with a brand-new O-ring.
- Always use the specified silicon grease.



1. Remove the O-ring using the O-ring remover.
2. Check that the O-ring is free of dirt, foreign object, crack or damage.
  - \* If any irregularity is found, replace it with a brand-new O-ring.
3. Clean the O-ring groove with a cotton swab, etc.
4. Apply special grease on the O-ring.
5. Attach the O-ring.
6. Check that the O-ring applying surface of the Battery Module is free of foreign object and connect the modules.



## Connection/Disconnection Methods

The following steps explain how to connect and disconnect the Light Module and Battery Module.

### ■ Connection

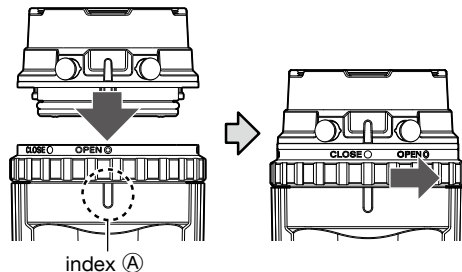
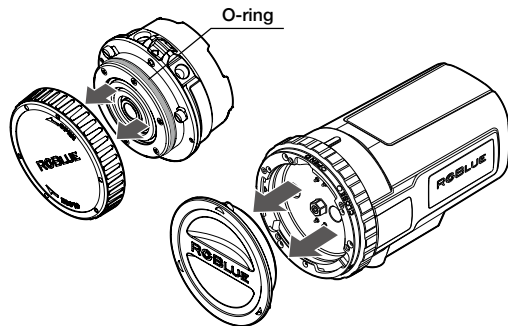
1. Remove the Light Module cap attached to the Light Module and the Battery Module cap attached to the Battery Module. For how to remove them, see P.32.

\* Attachment of the Light/Battery Module caps is always necessary when the Light/Battery Modules are stored alone.

2. Ensure that the O-ring is attached to the Light Module.
3. After aligning the OPEN index ○ with the index (A) on the Battery Module and the OPEN index ○ with the indicator on the Light Module, fit the Light Module all the way in.

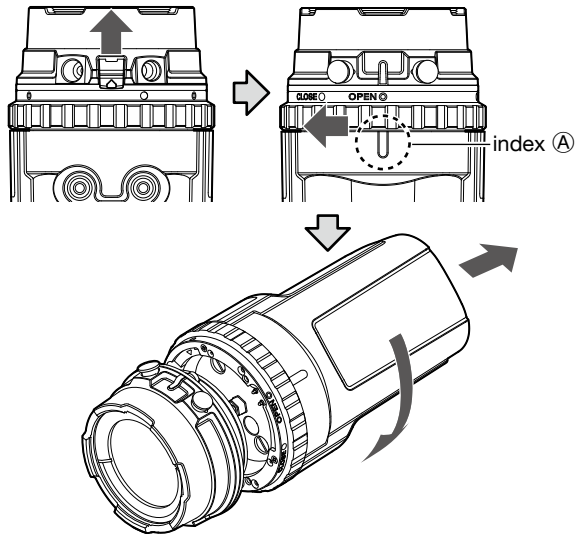
\* There are three connection directions, making possible connection from any one of them.

4. Turn the lock ring so that the CLOSE index ● is aligned with index (A). When a “click” sound is heard, the ring is locked in position.



## ■ Disconnection

1. While pulling the lock lever of the Light Module, turn the lock ring of the Battery Module until the OPEN marking is aligned with index (A) .
2. After the lock ring has been turned until the OPEN marking, hold the product so that the Light Module faces down and turn the Battery Module counterclockwise to remove.



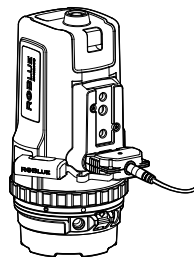
## Battery Charge

The battery of this product can be charged either when the two modules are connected or when the Battery Module is standalone without the Light Module.

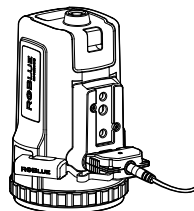
**⚠ CAUTION :** When charging this product, wipe any moisture off the charging terminal and ensure that both the product and the charger are completely dry.

1. Prepare the AC adapter with charge plug.
  2. Remove the cap from the charge plug and insert the plug into the charge terminal of the Battery Module.
- \* No directionality (+/- polarity) is specified for the plug.
3. Plug the AC adapter into a power outlet.
  4. The charge indicator on the charge plug lights to indicate the start of charging.
  5. Charging is complete when the charge indicator on the charge plug extinguishes.

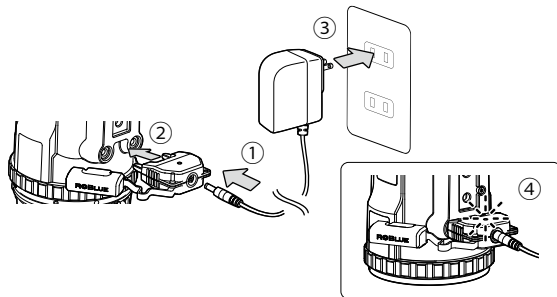
\* It takes about six hours until full charge. Note that this is only for reference when the battery is charged from a fully depleted state to a fully charged state. The actual charging time and battery life depends on many factors such as usage conditions and temperature.



Two modules are connected



Battery Module alone





## Operation 1 (Light Mode)

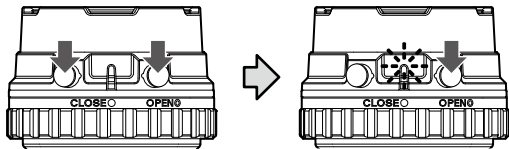
To prevent unintended lighting, this product is designed to turn on in two steps of operations.

The operation follows the sequence of Power OFF → Power ON → Brightness control → Power OFF.

### ■ Power ON

1. Press and hold the ⊕UP and ⊖DOWN buttons simultaneously. When the indicator starts to flash, press the ⊕UP button shortly once.
2. The indicator stops flashing and starts steady lighting, indicating that the power is on. The color of the indicator at this time indicates the remaining battery power.

\* If the ⊕UP button is not pressed, the flashing started by simultaneous holding of the buttons finished in about five seconds, and the product returns to the power off status.



Simultaneous holding → Pressing ⊕UP during flashing → Power ON

### • Remaining battery power indication

\* When power is on (when the indicator light is steady), battery power is used even when the light is not on. It is recommended to switch the power off when the light is not used for an extended period of time and switch the power on right before diving.

When the remaining battery power drops below 5%, the light is automatically dimmed to the minimum intensity and the brightness control is disabled.

#### Remaining battery power indication

100% - 50%	Blue	The indication varies depending on the light intensity level. This is because of the product specifications and not a malfunction.
50% - 20%	Purple	
20% - 5%	Yellow	
<5%	Red	

### • Other indications

Flashing: When the internal temperature rises above the specified level, safety circuitry is activated and the indicator is dimmed and continues flashing until the temperature returns to normal.



## ■ Light intensity levels and continuous lighting period

4-step brightness control	①	②	③	④
<b>02-2SNC</b>	800lm	1200lm	1500lm	2100lm
<b>02-2PC</b>	500lm	900lm	1300lm	1800lm
<b>02-2</b>	1000lm	1500lm	2000lm	2500lm
Continuous lighting period	600min.	240min.	180min.	120min.

Non-step brightness control	MIN ~ MAX
<b>02-2SNC</b>	400lm ~ 2600lm
<b>02-2PC</b>	300lm ~ 2200lm
<b>02-2</b>	600lm ~ 3000lm
Continuous lighting period	1000min. ~ 90min.

## ■ Power OFF

Press the ⊕UP and ⊖DOWN buttons simultaneously to switch power off.

## Accessories

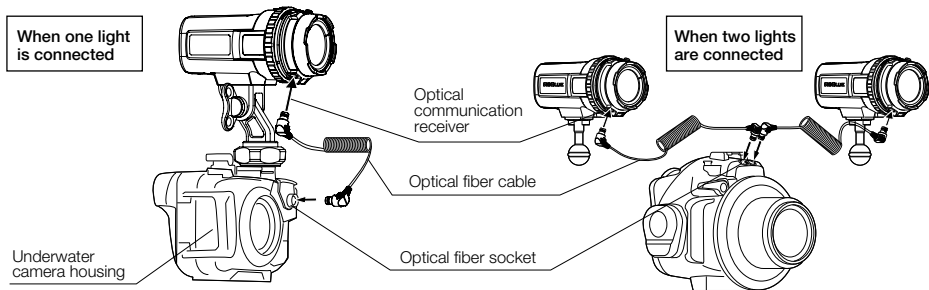
Please refer to the instructions for accessories in a separate manual.

## Operation 2 (Flash Mode)

The Flash Mode can be used to activate the light(s) for short durations in sync with the light emitted by the camera's built-in strobe. This mode makes it easier to photograph light-avoiding organisms that are difficult to capture when the light is always on. The light intensity level can be selected from High, Mid, or Low and the lighting duration from 0.3 seconds or 1 second. Be sure to read the following instructions before using this mode.

### ■ Connecting the camera and light(s)

Use a commercially available optical fiber cable (Sea&Sea or Olympus standard), to connect the housing's optical fiber socket to the optical communication receiver port on the light as shown below.



**⚠ CAUTION: The Flash Mode cannot be used when the RGB-RC01 Remote Controller is used.**

- The Remote Controller can be used in the Light Mode. (Connect the Remote Controller to the light(s) using the optical fiber cable(s).)

## ■ Setting the light to Flash Mode

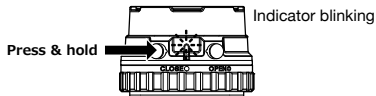
※The power ON/OFF operations are identical to the Light Mode.

1. Press and hold the ⊕UP and ⊖DOWN buttons simultaneously. When the indicator starts blinking, press the ⊕UP button once.
2. The indicator stops blinking and lights steadily to indicate that the power is ON. (The light module is in the Light Mode when the power is turned ON.)
3. In this state, (power ON and light OFF), press and hold the ⊖DOWN button until the indicator begins to blink (approx. 2 sec.).

**⚠ CAUTION :** This operation is available only using the button on the main body. It cannot be remote-controlled.

4. The indicator blinks with flash operation (light intensity and lighting duration) as shown in the charts below. The color of the indicator in the Flash Mode varies according to the remaining battery power. This is the same as the Light Mode.
5. To return to the normal Light Mode, press the ⊖DOWN button again. The indicator is on.
6. To switch the power OFF, press the ⊕UP and ⊖DOWN buttons simultaneously.

## Setting Flash Mode



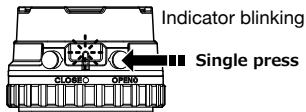
Power ON (Light is extinguished) → Press & hold The ⊖DOWN button → The indicator keeps blinking.

**⚠ CAUTION :** Since the Flash Mode uses an infrared beam, it may emit light in reaction to sunlight. Be sure to connect an optical fiber cable before switching the power ON.

## ■ Selecting the light intensity and lighting duration

1. Each time you press the ⊕UP button in the Flash Mode, the light intensity cycles through H → M → L → H → ... (No light is emitted while the light intensity is being selected.)
2. Pressing and holding the ⊕UP button (approx. 1 sec.) cycles the lighting duration through 1 sec. → 0.3 sec. → 1 sec. → ...

### Changing Flash Mode light intensity

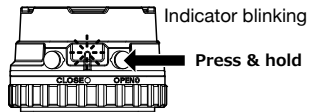


Each press of the ⊕UP button in the Flash Mode changes the light intensity in the order of H → M → L → and so on. At this time, the indicator repeats the blinking indications according to the selected light intensity. See the tables below.

[ Table 1 ] Blinking indications in the Flash Mode

Lighting duration	Light intensity	Image of blinking indications							
0.3 sec.	High	*	*	*	*	*	*	*	*
	Mid	*	*	*	*	*	*	*	*
	Low	*	*	*	*	*	*	*	*

### Changing Flash Mode lighting duration



Press and hold ⊕UP button (approx. 1 sec.) in Flash Mode changes the lighting duration between the two settings of 0.3 sec. and 1 sec. At this time, the indicator repeats the blinking indications according to the selected lighting duration. See the tables below.

[ Table 2 ] Blinking indications in the Flash Mode

Lighting duration	Light intensity	Image of blinking indications								
1 sec.	High	*	*	↔	*	*	↔	*	*	↔
	Mid	*	*	↔	*	*	↔	*	*	↔
	Low	*	*	↔	*	*	↔	*	*	↔

## ■ Synchronization of light emission and shutter release

The light activate in sync with the strobe light input to the optical communication receiver of the light module. To ensure that the light is synchronized with the camera shutter release, it is recommended to use the following strobe setting on the camera.

1. Use a mode with pre-flash capability.
2. If the system is capable of RC lighting, you can reduce battery consumption by using RC emission only.

**⚠ CAUTION : If the strobe is set to the manual lighting mode, pre-flash may not be available and it will not be possible to synchronize light module activation with the shutter release.**

## ■ Notes on light intensity selection

Light intensity in the Flash Mode can be selected from three levels (the default is High). When using an SLR camera, exposure can be adjusted by setting the exposure to the manual mode and adjusting the iris aperture (f-number). When using a camera that does not have manual exposure adjustment capability such as a compact camera, exposure

can be adjusted by using the exposure correction function in the Auto mode. However, with certain shooting distances such as macro shooting, the correction may be insufficient, in which case overexposure may result. If this happens, set the light module's light intensity to Mid or Low.

### [ Relationship between light intensity in Flash Mode and light intensity in Light Mode ]

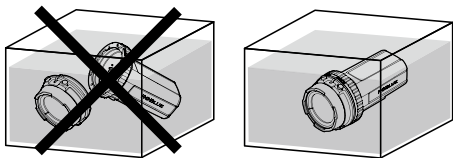
Flash mode light intensity	Light mode light intensity
High	Max. level of non-step brightness control
Mid	2nd level of 4-step brightness control
Low	Min. level of non-step brightness control

## ■ Notes on lighting duration selection

The flash lighting duration of the light module can be selected from two settings (the default is 0.3 sec.). If you are using the camera in the sequential shooting mode, setting the lighting duration to 1 sec. makes possible sequential shooting for about 1 second.

## Maintenance after Use and Recovery Function

- After finishing the use of the product, remove the lens, etc. (without disconnecting the modules) and soak the product in fresh water under normal temperature for more than one hour to eliminate the salt content.



- After taking the product out of the fresh water, wipe with a dry cloth to eliminate moisture and let the product dry naturally in a place not exposed to direct sunlight.

**⚠ CAUTION : Do not dry the product with a hair dryer or direct sunlight, as this may cause degradation or deformation of the product and O-ring, which may eventually lead to a failure or water penetration.**

- When the product is not to be used for a long period, disconnect the Light Module and Battery Module, and attach the module cap to the Battery Module before storing the two modules.

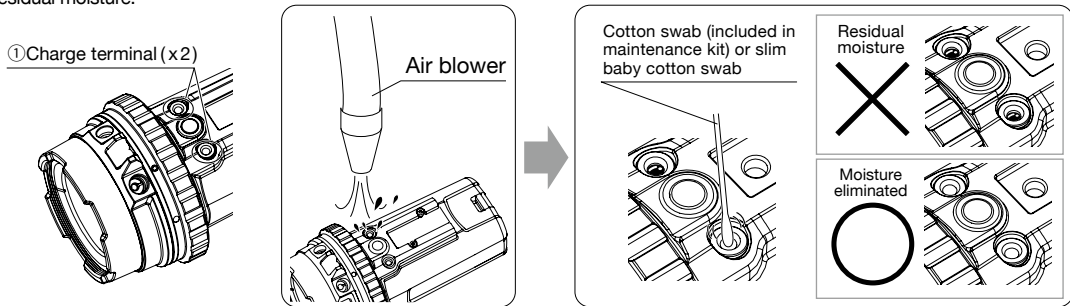
- The special O-ring and special silicon grease are consumable articles. If you run out of the spares, please purchase them.
- The battery gradually depletes even in a storage condition since the Battery Module incorporates a control PCB. Note that it is not malfunction. It is recommended to recharge the battery before use.

To protect the O-ring and O-ring applying surface from dust and dirt, as well as to prevent scratches during transportation before and after use and during storage, it is recommended to attach the Battery Module cap (RGB-CAP1) and Light Module cap (RGB-CAP2).



## ■ Charge Terminal Maintenance

Featuring independent waterproof structures and the built-in recovery function, the RGBBlue System Series Battery Module and Light Module are designed to minimize the potential for malfunctions. Proper maintenance before and after use will maximize operational life and performance. Repeated charging when the terminals are still wet or damp can lead to gradual corrosion and deterioration of the metal in the terminals, eventually making it impossible to charge the system. Always make sure the terminals are completely dry before inserting the charge plug to charge the system. If there is not sufficient time to let the charge terminals dry naturally, use an air blower to blow away any moisture on the charge terminals after wiping away any salt. Then use the cotton swab included in the maintenance kit or a slim baby cotton swab to completely remove and residual moisture.

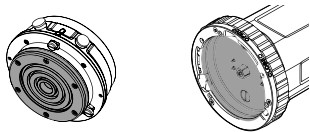


**⚠ CAUTION** : If the charge terminals are corroded and charging is not possible, the charge terminals can be replaced. For more information about pricing and other details, contact our Customer Support Center.

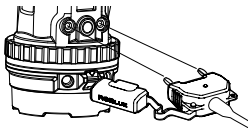
## ■ Recovery Function

If water penetrates the system, the built-in protection circuit is activated to temporarily prevent the power from being turned on. To deactivate the protection circuit and restore normal function, follow the steps below.

Detach the Battery Module and Light Module. Remove any moisture inside each module with a dry, lint-free cloth. Let the modules dry completely. If they have been exposed to salt water, wipe the salt off with a cloth moistened with fresh water or wash the salt under running water, and then let them dry completely.



Normal function will be restored when the system is charged with the AC adapter and charge plug.



If normal function cannot be restored even after completing the recovery steps, contact your dealer or RGLue.

## Product Specifications

\* Lighting periods are standard values when the fully-charged BM6700B is used.

Model name	SYSTEM02-2 SUPER-NATURAL COLOR					SYSTEM02-2 PREMIUM COLOR					SYSTEM02-2				
Product number	SYSTEM02-2-SNC					SYSTEM02-2-PC					SYSTEM02-2				
Light source	SUPER-NATURAL LED					PREMIUM LED					Standard LED				
Color temperature	5000K					4200K					5000K				
Color rendering index	Ra95					Ra95					Ra80				
Total flux	Max. 2600lm					Max. 2200lm					Max. 3000lm				
Brightness control	4-step brightness control				Non-step brightness control	4-step brightness control				Non-step brightness control	4-step brightness control				Non-step brightness control
Light intensity	800lm	1200lm	1500lm	2100lm	600lm ...2600lm	500lm	900lm	1300lm	1800lm	300lm ... 2200lm	1000lm	1500lm	2000lm	2500lm	600lm ...3000lm
Continuous lighting period*	600min.	240min.	180min.	120min.	1000min.... 90min.	600min.	240min	180min.	120min.	1000min.... 90min.	600min.	240min	180min	120min.	1000min.... 90min.

Irradiation angle	100°, 60° when a condensing lens is used
Operating environment	Underwater. * If lit continuously overland, the product temperature increases so the safety circuitry dims or extinguishes the light.
LED indication	Remaining battery power / Blue → Purple → Yellow → Red and Error / Red flashing.
Power supply	Rechargeable lithium ion battery, 6400 mA / 7.2V (46.08 Wh).
Charge method	AC adapter + Special plug
Battery life <sup>*1</sup>	Approx. 500 times
Withstanding water depth	100 meters, IPX8 (JIS protection class 8)
Dimensions	Max. dia. Φ68 mm x 135 mm (excluding projections)
Weight	565 g overland, 205 g underwater

Operating temperatures	-5°C to +45°C (23°F to 113°F)
Storage temperatures	-5°C to +45°C (23°F to 113°F)
Storage humidity	20% to 60%
Materials, treatment	Corrosion-resistant aluminum alloy / hard anodized aluminum, Titanium alloy, PC, optical glass/ chemically strengthened glass.
IR receiver	Brightness control from remote control. * When the optional remote control unit is used.
Safety standards	CE, FCC, PSE
Light ring thread diameter	M49, JIS standard compliant.
Bottom plate/head	Tripod screw compatible, JIS standard compliant.

\*1 The battery life is regarded to be expired when the rechargeable capacity drops below 50% of the original battery capacity. Consequently, the battery is still usable after the battery life is expired.

## When transporting this product on an airplane

Underwater lighting systems for scuba diving falls are regarded as goods prohibited to carry into an aircraft as stipulated in Article 86 of Japan's Civil Aeronautics Act. Keep this in mind when transporting this product on an airplane. For details, visit our website (see below).

RGBLue website  
<http://www.rgblue.jp/en/downloads/>



## After-Sale Servicing

### Warranty and After-Sale Servicing

- 1 Confirm that the “Date of purchase” and “Signature of dealer” are entered in the Warranty Card on the back cover of this manual, read its terms and conditions thoroughly, and retain it carefully.
- 2 The warranty period is one (1) year from the date of purchase.
- 3 When the instrument needs servicing:  
Before expiration of the warranty period: Bring the instrument to your dealer together with the Warranty Card (this manual). We will service the instrument according to the terms and conditions of the Warranty Card.  
After expiration of the warranty period: We will service the instrument for fees provided that the servicing is possible.
- 4 If you have any questions, please contact AOI Japan Co., Ltd.

#### AOI Japan Co., Ltd.

E-mail : [info@aoi-jp.biz](mailto:info@aoi-jp.biz) Tel.: +81 45 441 0127

Reception hours: 10:00–17:00, Monday–Friday,

(Closed: Saturday, Sunday and national holidays)

2F, Parktower Yokohama Portside 2-1 Kinko-cho, Kanagawa-ku,  
Yokohama, Kanagawa, Japan 221-0056

## Warranty terms

- 1 Even if the instrument fails before the expiration of the warranty period, there will be a charge for servicing in the following cases.
  - [1] Malfunction or damage due to misuse, modification or improper repair.
  - [2] Malfunction or damage due to improper handling (e.g. dropping) after purchase or caused during transportation or moving.
  - [3] Malfunction or damage due to a fire, earthquake, flood, lightning, other Act of God, deterioration of environment, salt damage, gas damage (by sulfide gas, etc.), abnormal voltage, use of non-specified power supply (voltage or frequency) or other extrinsic factors.
  - [4] Malfunction or damage during use for business purpose or a purpose other than the general household use.
  - [5] Servicing request without submitting the Warranty Card.
  - [6] Submission of Warranty Card in which the date of purchase, customer name and/or dealer name are not entered or in which these entries are altered.
  - [7] Adjustment/modification of settings, replacement of consumable parts.
- 2 If you are unable to contact the dealer the name of which is entered in the Warranty Card, please contact AOI Japan Co., Ltd.
- 3 **This Warranty is effective only in Japan.**

4 This Warranty Card will not be re-issued. Please retain it carefully so as not to lose it.

This Warranty Card undertakes free servicing under the terms and conditions prescribed explicitly in it. This Warranty Card therefore does not limit the legal rights of the users. If you have any inquiry including that on the servicing after expiration of the warranty period, please contact your dealer or AOI Japan Co., Ltd.

< Contact Us >

<https://www.rgblue.jp/en/contact/>

